

# お知らせ

## ◆遠藤周作の新刊

『狐狸庵読書術』 河出文庫

(680円＋税)

猛烈な読書家として知られた遠藤周作の、本をめぐる名エッセイ。「歴史」「紀行」「恋愛」「宗教」など多彩なジャンルから、読書の楽しみを説きます。解説は周作クラブ会員でもある今井真理氏。

『新発見・遠藤周作フランス留学時の家族との書簡』 「三田文学」 夏季号 (950円)

先頃発見された手紙の中から、父・母・兄の周作宛書簡など計14通が掲載されています。

申込み 三田文学会

☎03-3451-9053

## ◆第2回遠藤周作研究会

日時 9月22日(土) 1時～5時

場所 星美学園短期大学

☎03-3906-0056

JR「赤羽駅」北改札口下車  
西口より北方向へ徒歩10分。  
地下鉄南北線・埼玉高速鉄道  
「赤羽岩淵駅」下車 2番出口より徒歩8分

研究発表

『沈黙』『深い河』にみる親鸞像

小川仁子

『遠藤周作』爾も、また』—遠藤周

作とサド」小嶋洋輔

『留学』における象徴と暗喩—白い雪と赤い色の意味」兼子盾夫

「町田市民文学館所蔵の遠藤周作旧蔵書(欧文)」から見えてくるもの」久松健一

申込み、会費は必要ありません。当日直接お越し下さい。

事務局・山根 ☎086-227-5665

## ◆特別講座「遠藤周作の世界」

日時 10月20日(土)

午後1時から3時まで

場所 読売・日本テレビ文化センター

川崎(川崎BE5F・JR川崎駅ビル)

講師 加藤宗哉

申込み 読売日本テレビ文化センター

川崎まで

☎044-221-5590

※今回は1回限りの講座で、参加費は2100円。入会金は不要。

▼なお、その日の夕刻4時から、横浜元町で「サロン遠藤周作の世界」お茶を飲みながら」の催し、「遠藤周作・母の歌ったグレゴリオ聖歌」が行われます。

参加費 2千円

会場 サウンド・ラボラトリーTONE

地下鉄「元町・中華街」駅から徒歩2分

問合せ 周作クラブ 西澤

☎090-4750-1387

## ◆遠藤文学講座のお知らせ

〈遠藤周作の生涯と文学⑩〉

〜中堅作家の試み(続き)〜

日時 9月1日、10月6日、

11月3日、12月15日(土)

3時20分～4時50分

場所 幼きイエス会

(四谷駅麹町口前)

☎03-3261-0825

講師 山根道公

受講料 1回2千円(学生半額)

申込み 風編集部

☎086-227-5665

内容 今回は、最初のユーモア小説『おバカさん』および最初の切支丹小説『最後の殉教者』を取りあげ、読み解いてゆきます。

## ◆「周作クラブ」会員募集

「周作クラブ」に入会しませんか。年会費(9月～翌年8月)はたったの3千円、なんと月額250円です。年4回、遠藤文学に関する様々な情報が載るこの会報が送られるほか、会が主催する勉強会やパーティー、遠藤文学の足跡を訪ねる旅行会などに参加できます。

遠藤文学ファンはもうろん、これから読んでみようという若い人も大歓迎です。また会員の方も、どうぞご家族や友人、知人をお誘いください。下記の加藤宗哉事務所内「周作クラブ」までおハガキかFAXを下されば、折返し会費振込用紙をお送りします。

## ◆編集後記

▼5月26日、原点の旅に参加するため名古屋駅に降り立つと、快晴にもかかわらず、黄色い薄霞がかかったような状態でした。黄砂が飛来しているのだという。春から初夏にかけて、中国大陸から風に乗ってやってくる黄砂が、北九州地方や中国地方に黄害をもたらすことは知りましたが、経験するのは初めてです。それにしても名古屋で……。あるいは、これも遠藤先生のいたずら? ともある、この日は一日黄砂の影響で、岐阜城からの遠望も、黄色く霞んでいたのです。

▼6月30日、昨年の遠藤先生没後10年の会をきっかけに復活した「宇宙棋院」の合宿が、湯河原で行われました。当会顧問の黒井千次さん、「宇宙棋院繁盛記」を執筆中の白石省吾さん、当会監査の光武喜代人さんほか。久しぶりにへボ碁に興じ楽しい一夜でした。また、湯河原にお住まいの宇宙棋院の元会長谷田昌平さんが見えになり、感激でした。谷田さんは『沈黙』を世に出した元「新潮」の名編集長です。

▼9月29日の総会および周作忌の懇親会へぜひご参加ください。(剣)

## 「周作クラブ」第28号

2007年8月発行

■発行人 加賀 乙彦

■編集人 高橋千劍破

■副編集人 金子 コウ

■編集 岡田厚美、黒澤政子、近藤恭弘

■発行所 矢内一正

東京都世田谷区上馬4-29-17

加藤宗哉事務所内「周作クラブ」

TEL080-1097-1979

FAX03-3411-7939

●次回の会報発行は11月の予定です。